

令和7年度

三好市立芝生小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学びに向かい、伝え合い高め合う授業の実践
- よく聴きよく考え、自分の言葉で表現できる授業の実践

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○生活体験として得たものは知識として定着しやすい。</p> <p>●読解力が弱く、情報を正確に読み取ったり、必要な情報を選び出したりする力に課題がある。</p>	<p>・該当学年の読み・書き・計算の知識・技能の8割程度を習得することができる。</p> <p>・文章を正しく読み取り、必要な情報を取り出すことができる。</p> <p>・言葉の意味を正しく理解し、学んだ言葉を使って文に表すことができる。</p>	<p>・週に1回程度、漢字や計算の小テストを行う。</p> <p>・1授業の中に、話す、聞く、書く活動の場を設定する。</p> <p>・体験的活動や読書活動、具体物操作や辞書による言葉の意味調べなど、生活経験に結び付く場面を設定する。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の意見を素直に発表できる児童が多い。</p> <p>○発想豊かで、柔軟な考えをもつ児童が多い。</p> <p>●友達の意見を正しく聞き取ったり、自分の意見と比べながら聞いたりすることに課題がある。</p> <p>●発表の際に単語だけで答え、文の形で話すことに課題がある。</p>	<p>・自分と友達の意見の違いに気づいたり、比較・関連付けたりしながら聞くことができる。</p> <p>・主述を明確にして自分の考えを述べ、課題解決するための方法を話し合うことができる。</p>	<p>・友達の発表を聞いたらず必ずハンドサインを出させる。</p> <p>・ICTを活用して友達の意見に触れる機会を増やす。</p> <p>・教室に掲示している「発表の仕方」の例示などを活用して話し方を指導する。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の好きな分野に対しては興味・関心が高く、意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○発表などに積極的で、課題にまじめに取り組む児童が多い。</p> <p>●自ら課題を見つけて解決しようとしたり、根気強く取り組んだりする児童が少ない。</p> <p>●間違ふことややり直しを嫌がる傾向があり、消極的になることがある。</p>	<p>・探求心をもち、粘り強く課題に取り組むことができる。</p> <p>・わかる・できる喜びを感じ、自信をもって表現できる。</p>	<p>・時間的な見通しと視覚的なゴールを提示したり、課題を解くのに手がかりとなる既習事項を明示したりする。</p> <p>・児童が興味を持ちそうなものを予想し、児童の目に触れる環境を設定する。</p> <p>・授業や自主学習などで、振り返りと次回への課題を書いたり、互いの成果を伝え合ったりする機会を設ける。</p>			